Information
No.2026-64　Date 2026.11.
BML

新規受託項目

謹啓　時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。
謹白

記

項 目 名

● FOLR1 卵巣癌　（依頼コード No.17590）

受託開始日　2026年11月16日(月) ご依頼分より

FOLR1 卵巣癌　検査は免疫組織化学染色(IHC法)を用いて、がん組織中のFOLR1タンパクを検出する検査です。
この度、「葉酸受容体α(FRα/FOLR1)陽性のプラチナ製剤抵抗性の再発卵巣癌」の治療薬としてミルベツキシマブ ソラブタンシンが承認され、当該治療薬の適応判定を補助するコンパニオン診断として本検査が保険適用となりましたので検査の受託を開始いたします。

裏面に続きます

株式会社 ビー・エム・エル
本　　社：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3
総合研究所：〒350-1101 埼玉県川越市的場1361-1
☎ 03(6629)7386　FAX 049(232)3132

検査項目検索用アプリ B-Book
Google play　App Store
B-Book BML
電子カルテはビー・エム・エル
Qualis Cloud

受託要領

依頼（報告）コードNo.	17590
検査項目名	FOLR1 卵巣癌
検体必要量	未染色スライド標本4枚（切片厚は4μm） パラフィン包埋ブロック（別途スライド作製費用が発生）
検体の保存方法	室温
所要日数	7～13
検査方法	免疫組織化学染色（IHC法）
報告範囲	陽性/陰性
検査実施料	2700点
検体提出のご注意	・病理診断名、病理所見は本検査判定時の必須事項のため、記載が必要です。 （病理報告書コピーを添付の場合、記載は不要です。） ・依頼書の「臨床診断及び臨床情報」欄に固定時間をご記入ください。 ・検体は採取後速やかに固定してください。 ・材料固定時間：10%中性緩衝ホルマリンを使用し、6～72時間が推奨されています。 （生検などの小さめの検体では6時間以上、切除検体などの大きめの検体では12時間以上の固定が推奨されます。） ・脱灰や、ホルマリン以外の固定液を使用して処理された材料は推奨されていません。 ・セルブロックの受託は不可となりますのでご了承ください。 【未染色切片貼付標本スライドの場合】 ・必ず、シラン等のコーティングスライドをご使用ください。 また、使用するスライドガラスは製造後なるべく新しいものを使用してください。 【パラフィン包埋ブロックの場合】 ・別途標本作製費用が発生します。